

年度 2009 学期 前期	曜日・校時 月・3	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	総合英語 I (Comprehensive English I)		
対象年次 1年次	講義形態 演習	教室	
対象学生(クラス等)	Fc	科目分類	外国語科目(英語)
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 藤本 ゆかり /研究室: 非常勤講師控室 /TEL: 095-819-2078(全学事務室) /オフィスアワー: 授業終了後			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: 海洋・水産を扱った、英文で書かれた興味深い論文を学ぶことにより、学習意欲を高め、英語の総合的な能力を伸ばし、リーディングスキルの能力を身に付ける。水産学で用いられる専門用語を習得する。水産に関する英語の長文を理解して読めるようになる。また、水産学を学ぶ上で、海洋・漁業・環境保護について、さらなる興味と関心を深める。 授業方法: 予習を充分に行ってきた上で、英文を読み、理解度を確認し、読解の方法を指導する。語句や構文、文法事項に重点を置きながら、内容の正確な把握ができるようになる。テキストの練習問題により、説明と指導をしながら、語彙と文法事項の定着を図り、リーディングと英作文の能力を養う。資料等により、水産学についての、様々な問題を考える。 授業到達目標: 専門用語として、水産学で用いられる英語を学んで覚え、海洋や水産業について書かれた英文を読み、その内容の意味を正確に理解できる。専門である水産学に対する関心を深める。また、それらについて考察し、自分の考えを持つようになり、将来の研究に備える。語句や文法事項の基礎的な力を確認し、さらにリーディングの応用力を伸ばすことができる。水産学に関する、英語で書かれた論文を読めるようになる。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 十分な予習を前提とした上で、テキストの英文の精読や速読を行い、正確な理解を図るべく、文章の内容を確認していきながら、語句や文法事項、及び、英文読解の方法や技術を指導します。英文の内容の理解が出来ていることを示すために、毎回発表をしてもらいます。その中で、水産学の専門的な知識を説明することになります。英文の読解力を高めること、専門的な水産学の専門的な英語を習得することを、目標とします。本文の内容理解を確認するための練習問題を解き、その中で語彙や文法事項、また英作文の指導をします。さらに、多様なテキストのテーマについての考察を行います。			
<p>第1回 導入・授業内容の説明 Goldfish Bowls and the Pacific Ocean 実験室での自然生態系の再現</p> <p>第2回 Cultivated Fishing 栽培漁業: 新時代の水産業の幕開け</p> <p>第3回 The Mysterious Navigational Ability of Fish 魚の超能力 マグロ幼魚の太平洋横断の神秘</p> <p>第4回 The Migration of the Eel ウナギの回遊: ロマン漂う深海産卵</p> <p>第5回 Protecting the Seashore 海岸を守る: 侵食保全への努力</p> <p>第6回 The Soil Beneath the Sea 海底の土: 深海に眠る天然資源</p> <p>第7回 Beach Rocks ビーチロック: 高温地域の天然コンクリート</p> <p>第8回 El Nino (Part 1) エル・ニーニョ (1): 暖かい海水“神の子”</p> <p>第9回 El Nino (Part 2) エル・ニーニョ (2): 大気と海水の相互作用のメカニズム</p> <p>第10回 The Circulation of Water: Fresh Water Comes from the Ocean 水循環: 全ての陸水のルーツは海</p> <p>第11回 The Sea: Our Common Food Store 海: 人類共有の食糧庫</p> <p>第12回 Recovering Phosphorus from the Ocean 海からの養分の回収</p> <p>第13回 Shedding Light on Small Fish 雑魚にもっと光を: 自然養殖業の試み</p> <p>第14回 Diseases of Fish 魚の病気: 養殖環境に問題</p> <p>第15回 まとめと定期試験</p>			
日本は、国土のあり方からも、海との結びつきが非常に強く、また、日本人ほど、魚介類を始めとする日常生活において、海の幸に恩恵を受けている国民は、世界に類を見ないでしょう。テキストは、海洋・水産に関する、英語で書かれた論文集で、特色あるものです。豊かな海に恵まれた、水産業の盛んな長崎で、長崎大学水産学部に学ぶ幸せを思いながら、将来の専門の研究と関連付けて考えを深め、準備をして授業に臨んで下さい。			
キーワード	リーディングスキルの向上・水産学・海洋・水産業・魚・環境保護		
教科書・教材・参考書	Gifts of the Sea 『海の贈り物』 (ポール・スミンキー/坂本育生 著 : 南雲堂) 英和辞書(電子辞書)を必携すること。		
成績評価の方法・基準等	定期試験を筆記で行います。 主に定期試験により評価をします。それに授業中の活動を加えます。 定期試験90%、授業中の発表や活動10~20%を基準とします。 また、授業態度を非常に重視しますので、注意しましょう。		
受講要件(履修条件)	授業には、全回出席することを期待します。 授業には、必ず予習をして臨みましょう。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	英語のリーディングスキルを養い、定着を図る。 水産学に対する興味を高め、知識を得、将来の研究と結び付ける。		
備考(準備学習等)	授業には、必ず予習をして臨んで下さい。 予め英単語の意味を調べ、文章の大意を掴み、テキストの問題を解いておきます。		